ガイド表示を利用する

[◈]（[ガイド]）を押すと、撮影画面でのボタン操作方法が表示されます。
[o]（[戻る]）を押すと、撮影画面に戻ります。

写メールモードの場合

静止画の撮影

内蔵のモバイルカメラで、静止画を撮影することができます。
静止画の撮影には写メールモード、デジタルカメラモード、特撮モードがあります（☞7-7ページ）。写メールモードでは通常・旅・連写の3モード、特撮モードではバーチャルウィッグ・バーチャルトリップの2モードから選択できます。フレーム、タイマー、シャッター音、画像効果の設定などができ、撮影した画像はJPEG形式（パソコンで主流の保存形式）で本体（データフォルダ）やメモリカードに保存されます。また、顔写真を撮影してアドレス帳に登録したり、ピクチャーつく～る（☞7-35ページ）や、アニメつく～る（☞11-14ページ）を利用することもできます。

- **メモリカードについては10章を、データフォルダについては11章を参照してください。**

■静止画撮影モード

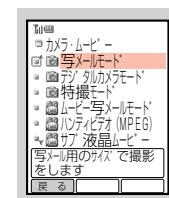
撮影モード	撮影可能サイズ	最大ズーム	保存先フォルダ（初期状態）
写メールモード： 壁紙設定や写メールを送信する場合の写真撮影モードです。ワンタッチフォトメール（☞7-8ページ）で簡単に送れます。	11行：待受1 5行：着信画像 3行：発信イラスト 設定イラスト	4倍	ピクチャー
	W144×H176	6.6倍	
	W120×H160 サブ液晶サイズ 顔写真	8倍	
デジタルカメラモード： パソコンなどの外部接続機器に表示する場合の写真撮影モードです。	SXGA（W1280×H960） VGA（W640×H480）	VGA（W640×H480）のみ2倍	デジタルカメラ
特撮モード　**バーチャルウィッグモード：** 自作フレームと写真を合成する場合の写真撮影モードです。	W240×H320	4倍	フレーム：オリジナルフレーム 合成画像：ピクチャー
特撮モード　**バーチャルトリップモード：** 背景と切り抜いた画像を合成する場合の写真撮影モードです。	W240×H320	4倍	ピクチャー

■静止画を撮影する

例 写メールモードで撮影する場合

1 **[Menu][□]の順に押す**

- 待受画面で[o]を長く（約1秒以上）押してカメラを起動することもできます。初回は写メールモードで起動し、2回目以降は前回終了時の撮影モード（QRコード読取りを含む）で起動します。ただし、バーチャルウィッグ／バーチャルトリップモードで終了した場合は、写メールモードで起動します。

2 **[◎]で「カメラ・ムービー」を選択し、[■]を押す**

撮影モード設定画面

3 **[◎]で「写メールモード」を選択し、[■]を押す**

- 撮影画面での操作については7-4ページを参照してください。
- デジタルカメラモードで撮影する場合は、「**デジタルカメラモード**」を選択します。

撮影画面

4 撮影したい画像をディスプレイに表示し、[■]を押す

▶シャッター音が鳴り、撮影した画像がディスプレイに表示されます。
- 下サイドキーでも同様の操作が行えます。
- 撮影をやり直す場合は、[Clear]を押したあと「**破棄する**」を選択し、[■]を押します。

5 [■]を押す

▶撮影した画像がデータフォルダのピクチャーフォルダに登録されます。
- 登録した画像のファイル名は、撮影日時になります。

重要
- 暗い場所では光量が不足するため、画質が落ちて白い点が見えてきます。明るい場所で撮影するか、モバイルフラッシュ（☞7-5ページ）を使用することをおすすめします。
- 撮影した画像をメモリカードに登録中にメモリカードを抜いた場合、撮影した画像は本体（データフォルダ）に登録されます。

補足
- データフォルダが一杯の場合は、撮影した画像を登録できません。登録する場合は、操作*5*のあと「**ファイルを消去**」を選択して、不要なファイルを消去するか（☞11-20ページ）、「**メモリカードに保存**」を選択して、メモリカードに登録してください。
- 撮影した画像を自動登録することや登録するフォルダを設定することができます（☞7-29ページ）。
- 操作*4*のあと[Menu]（[メニュー]）を押して、保存先変更の操作を行うことができます（撮影した画像にのみ有効）。
- カメラ／ムービー起動中に無操作の状態で約1分50秒経過すると、待受画面に戻ります。

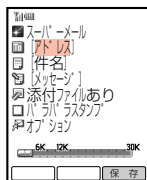
撮影した静止画を写メールで送る

撮影した画像をボタンひとつでデータフォルダに登録し、スーパーメールに添付することができます（ワンタッチフォトメール）。

1 静止画を撮影する

- 静止画の撮影については7-7ページの操作*1*～*4*を参照してください。

2 [✉]（[写メール]）を押す

▶データフォルダ登録後、画像が添付されたスーパーメール作成画面が表示されます。
- 送信方法についてはVodafone live!編を参照してください。

重要

自動登録の設定（☞7-29ページ）が「**ON**」に設定されている場合は、ワンタッチフォトメールは利用できません。

補足

添付する画像サイズがW240×H320を超えたり、ファイルサイズが約6Kバイトを超える場合は、操作*2*のあと添付方法を選択して送信することができます（☞Vodafone live!編）。

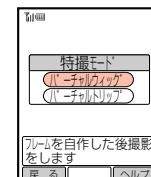
■特撮モードで撮影する

特撮モードには、自作フレームと撮影画像を合成するバーチャルウィッグモードと、背景画像と撮影画像を合成するバーチャルトリップモードの2種類のモードがあります。

バーチャルウィッグモードで撮影する

輪郭抽出により撮影画像を切り抜いてフレームを作成し、そのフレームに合わせて静止画を撮影して、はめ込み画像を作成することができます。
- **プライバシーの侵害とならないよう適切なご使用を心がけてください。**

1 撮影モード設定画面（☞7-7ページ）より、[◇]で「特撮モード」を選択し、[■]を押す

- [✉]（[ヘルプ]）を押すと、選択している特撮モードの操作ガイドが表示されます。[◇]で操作手順が確認でき、[o]（[戻る]）を押すと右の画面へ戻ります。

2 [◇]で「バーチャルウィッグ」を選択し、[■]を押す

バーチャルウィッグ撮影画面

- 撮影ガイドは画像を切り抜く範囲を表します。[*]、[#]で撮影ガイドのサイズ変更ができます。
- [o]（[－]）、[✉]（[＋]）でズームの操作ができます。
- [Menu]（[メニュー]）を押して、撮影ガイドの形を変更（☞7-22ページ）したり、切り抜きの精度を設定（☞7-23ページ）することができます。

3 フレームとして撮影したい画像をディスプレイに表示する

4 [◈]で撮影ガイドの位置を指定し、[■]を押す

▶シャッター音が鳴り、撮影した画像が表示されます。
- [Menu]（[メニュー]）を押したあと、「**ガイド移動幅**」を選択し、[■]を押すと、ガイドの移動幅を以下から選択することができます。
  ・30ドット／10ドット／1ドット
- 下サイドキーでもシャッター操作が行えます。
- 撮影をやり直す場合は、[Clear]を押したあと「**破棄する**」を選択し、[■]を押します。

5 [↩]（[決定]）を押す

▶切り抜き画像をデータフォルダのオリジナルフレームフォルダに登録後、撮影画面が表示されます。
このあと、切り抜かれた部分に撮影したい画像を表示し、7-8ページの操作*4*以降を行います。

補 足

- **切り抜きの位置を変更する場合は…**
  操作*4*の画面で[o]（[修正]）を押したあと[✥]で撮影ガイドの位置を指定し直し、[↩]（[再実行]）を押します。
- 操作*4*の画面で[o]（[修正]）を押したあと[Menu]（[ﾒﾆｭｰ]）を押して、切り抜きの修正（**撮影ガイド変更**／**切り抜き精度**）の操作を行うことができます。
- 撮影した画像を自動登録することや登録するフォルダを設定することができます（☞7-29ページ）。
- カメラ･ムービー起動中に無操作の状態で約1分50秒経過すると、待受画面に戻ります。

バーチャルトリップモードで撮影する

背景画像を選択し、背景に合わせた位置で撮影したあと切り抜き、背景と合成させた画像を作成します。あたかもそこで撮影したかのような画像を作成することができます。
背景は2種類から選択できます。また「**データフォルダ**」から選択することもできます。

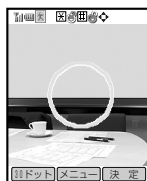
1 撮影モード設定画面（☞7-7ページ）より、[↕]で「特撮モード」を選択し、[■]を押す

▶特撮モード選択画面が表示されます。
- [↩]（[ﾍﾙﾌﾟ]）を押すと、選択している特撮モードの操作ガイドが表示されます。[↕]で操作手順が確認でき、[o]（[戻る]）を押すと特撮モード選択画面へ戻ります。

2 [↕]で「バーチャルトリップ」を選択し、[■]を押す

▶背景設定画面が表示されます。
- [↩]（[確認]）を押すと、選択している背景が確認できます。

3 [✥]で設定したい背景を選択し、[■]を押す

▶背景画像が表示されます。
- [✱]、[#]で撮影ガイドのサイズ変更ができます。
- [Menu]（[ﾒﾆｭｰ]）を押して、撮影ガイドの形を変更（☞7-22ページ）したり、背景を変更することができます。

4 [✥]で撮影ガイドの位置を指定し、[↩]（[決定]）を押す

▶撮影（切り抜き）画面が表示されます。
- [o]を押すたびに撮影ガイドの移動単位は、次のように切り替わります。

5 撮影したい画像を撮影ガイド内に表示し、[■]を押す

- 下サイドキーでも同様の操作が行えます。
- [✥]で切り抜き画像の位置を移動することができます。
- 撮影をやり直す場合は、[Clear]を押したあと「**破棄する**」を選択し、[■]を押します。

6 [↩]（[確定]）を押し、[■]を押す

▶合成画像がデータフォルダのピクチャーフォルダに登録されます。
- 登録した画像のファイル名は、撮影日時になります。

補 足

- 操作*5*の画面で[Menu]（[ﾒﾆｭｰ]）を押して、合成した画像の編集（**切り抜き修正**／**背景変更**／**JPEG設定**）の操作を行うことができます。
- 撮影した画像を登録するフォルダを設定することができます（☞7-29ページ）。
- カメラ／ムービー起動中に無操作の状態で約1分50秒経過すると、待受画面に戻ります。

■静止画撮影で利用できる機能

機能設定	写メールモード	写メールモード（旅モード）	写メールモード（連写モード）	デジタルカメラモード	バーチャルウィッグモード	バーチャルトリップモード
連写（☞7-17ページ） 連続して9枚の写真撮影を行います。	—	—	○	—	—	—
サムネイル表示（自動登録設定OFF時） 9つの画像を一度に表示します。	—	—	○	—	—	—
ワンタッチフォトメール（☞7-8ページ） 撮影した写真をカンタンに送ります。	○	○	—	○	○	○
フラッシュ（☞7-5ページ） 暗い場所でも撮影できます。	○	○	○	○	○	○
ズーム（☞7-5ページ） 撮影画像の倍率を切り替えます。	○	○	○	○※	○	○
アニメーション作成（☞7-18ページ） 連写撮影した画像を選択してアニメーションを作ります。	—	—	○	—	—	—
輪郭抽出（☞7-9ページ） 自作フレームで撮影合成したり、背景と切り抜いた画像を合成します。	—	—	—	—	○	○
らくがき（☞7-21ページ） 撮影した画像にスタンプや文字を貼り付けます。	○	○	—	—	○	○

※撮影サイズがW640×H480の場合のみ2倍ズームが可能です。

7 カメラ／ムービー